

しばざくら

【教育目標】 「心豊かに たくましく 生きぬく生徒」

- 自ら創造する生徒
- 思いやりのある生徒
- 健康で活力のある生徒
- 責任を果たす生徒



生徒の質問に丁寧に答えていただきました。

高木美帆さんが来校！～生徒は感動…



6月に入り、スッキリとした天気が少なく、曇天の日が多くなっております。学校は、4月から2ヶ月が経過し、体育祭・運動会が小中学校とも終了し、夏休みまで落ち着いた学校生活となります。一方で、3年生にとっては最後となる夏季中体連大会に向けて、部活動に加入している生徒は、日々練習に励んでいるところです。

さて、過日、各種報道機関でも紹介をされたところではありますが、幕別町の「アスリートと創るオリンピックの町創生事業」の一つであります「オリンピック学校訪問事業」が忠類中学校で行われました。現役選手として、今なお、日本のスケート界を牽引されている幕別町出身の高木美帆さんをお招きし、子どもたちに貴重なお話、そして、交流の時間・場をいただきました。

振り返れば、高木さんは、まさしく、今の生徒と同時期にはオリンピック代表に選出され、今日に至るまで、様々な困難や苦しみを乗り越え、努力を積み重ねながら、世界の頂点に立たれました。現在、スピードスケートをしている子どもたちにとっては、憧れの存在であり、他の子どもたちにとっても、地元幕別町民の誇りでもあります。

【中学生へのメッセージ】から… 多くを子どもを含め、教職員や関係者の皆さんも学ばせていただきました。

「将来のことを考えると、勉強は自分の選択肢を広げることに繋がります。勉強をする習慣を身につけ、将来、自分自身がやりたいことを見つけたときに道を切り拓くことにつながっていきます！」「やりたいこと と やらなければならないことを しっかりと味わってほしい！」とお伝えいただきました。

また、「緊張はほぐすものではなく、自分のパフォーマンスを上げるものです。不安や動揺は、目標やゴールに向かって努力すること、やることをやりきることでなくなるものです。」と…。

更に、「辛いことは、自分の体の調整で、やりたいトレーニングや努力ができない時間があるとき、頑張れない状況があるときです。」と語っていただきました。 その一つ一つの言葉に重みがあり、今の中学生にとって、本当に心に響く内容でした。お忙しい中、子どもたちのために時間をつくっていただき心より感謝申し上げます。

～栄光の架け橋～(春季十勝大会の各種結果報告)

野球部～代表決定戦で敗退!

6月3日(土)に帯広の森野球場並びに幕別町運動公園野球場にて全十勝中体連春季軟式野球大会に幕別町連合(札内中+札内東中+幕別中+忠類中)の4校連合チームとして出場しました。

出場校も19チームとなり、単独校でチームが組める数は5チーム。残りは、クラブチームも含めて合同チームとなっています。時代の流れでしょうか…?

結果は、初戦に「音更・駒場連合チーム」に9対0で快勝し、その後、代表決定をかけた試合に帯広第八中学校と対戦。0対7で敗退してしまいました。順位決定戦に回り、「帯七中+清川中+川西中」連合チームとの対戦では、3対8で敗戦。夏季大会に向けて、更なる躍進を期待したいと思います。



【長田くん、三遊間を抜けるヒット!!】

6月10日(土)によつ葉アリーナ十勝にて全十勝中学校春季バレーボール大会が開催されました。本校は、新入部員が2名入部してくれたこと、豊頃と本校の2校による合同チームとなっています。

2回戦からのスタート。相手チームは「芽室西+鹿追+清水」中学校の合同チームとの対戦となりました。結果は、セットカウント0対2ではありましたが、スコア的には、「24対26」「21対25」の接戦の試合でした。夏の大会につながる良い大会となりました。

普段から一緒に練習する機会も少ない中で、本当に子どもたちは頑張っていました。とても良い雰囲気でした。



【トスを上げる川又さん】

【アタックをうつ豊田さん】

6月3日(土)によつ葉アリーナ十勝にて全十勝中学校春季卓球大会団体戦が開催されました。今年度、多くの新入部員が入り、男子は人数が増えました。今回、男子のみがエントリーとなり、予選リーグ3チームの中から決勝トーナメントに2チームが進出できる大会でした。

忠類中学校は、予選リーグで大空中学校に3対2で勝利。見事、リーグ2位で予選を勝ち上がり、決勝トーナメントに進出しました。

決勝トーナメントでは、帯広第四中学校と対戦し、0対3で敗退しました。しかしながら、子どもたちにとっては、大変自信となる大会でした。



【ダブルスを組んだ小森・大坂ペア】

7月行事予定

- 1日(土) 通信陸上十勝予選(～2日)
- 4日(火) 第2回授業参観日
- 5日(水) 定例職員会議
- 8日(土) 全十勝夏季卓球(団体)
- 9日(日) 全十勝夏季卓球(個人)
- 10日(月) 1年人権教室
- 11日(火) 小中合同体力テスト
- 12日(水) 生徒会常任委員会
- 13日(木) 3年かぼちゃプロジェクト授業
- 15日(土) 全十勝夏季バレー(～16日)

- 17日(月) 管内PTA連合会研究大会
(陸別大会)
- 18日(火) 校内研修
- 19日(水) まくべつ教育の日
ちゅうるい学園小中合同部会
2年宿泊学習(～20日)
- 21日(金) 大掃除
- 24日(月) 1学期終業式
- 25日(火) 夏季休業(～8月17日まで)
卓球選手権カデットの部
全道中体連陸上大会(釧路)

花いっぱい運動！！～国道沿いでお出迎え～

地域の皆さんと一緒に花植え



6月1日(木)に本年度も、「手作りのまち推進委員会」主催により「花いっぱい運動」が開催されました。

本校では総合的な学習のふるさと学習に位置づけ、毎年2年生がこの運動に取り組みさせていただいています。地域の皆様と一緒に、国道沿いの花壇に花を植えました。これから、観光シーズンを迎え、多くの観光客や国道を通られる皆さんに忠類が素敵で美しい町とおもっていただけるよう頑張りました。子どもたちが汗を流し、地域づくりの一助にかかわらせていただけることに感謝するとともに、ふるさとへの愛着を更に高める活動につながっています。

札幌大谷大学連携～地域活性化案探究学習

6月21日(水)に札幌大谷大学社会学部地域社会学科 西浦功 教授と忠類中学校をオンラインで結び、この2年間の探究学習を通じて組み立ててきた3年生の「地域活性化案」に対する交流を行いました。

今年8月の修学旅行時に子どもたちは札幌大谷大学に行き、西浦ゼミの学生さんと交流する予定です。その際、学生に現活性化案を発表し、更に内容をブラッシュアップする予定です。

今回は西浦教授の顔合わせと一人一人の活性化案の概要を伝える学習でした。様々な人の考えに触れることで思考が広がり、更に、様々なアイデアが生まれることを期待しています。

地域と学校をつなぐ「学校だより」

4月から地域に学校だよりを配付及び回覧をされなくなり、支所や郵便局、農協等に学校だよりを置かせていただいていた。そのような中、忠類地区公区長連絡協議会の中で、「学校と地域住民をつなぐ手段として学校だよりは大切なもの」との話題があがり、この3月末までの配付・回覧方法を継続する方向で確認されました。公区長さん並びに各班長さんにはご足労をおかけしますが、どうぞよろしくお願いいたします。学校としても、地域の皆様にとって、学校だよりが大切なものと受け止めていただけていることを大変、嬉しく思います。

忠類道の駅30周年記念～川柳

十勝管内最初に「道の駅」登録を受けて30周年を迎える「道の駅・忠類」。その記念として、5月20日～21日の二日間イベントを開催。多くの来場者で賑わいました。私自身も地域住民として「綿あめづくり」に参加させていただき楽しい時間を過ごすことができました。

そのイベント事業の企画として「忠類愛川柳」が行われ、小中学校の児童生徒が川柳作りに取り組みました。結果、本校から2名の生徒が入賞いたしました。

「6年を かけた純白 輝いて」 村田慎治さん

「街中に 響く古代の ナウマン象」鳥毛唯奈さん

高木美帆さん 来校！！「オリンピック学校訪問事業」

6月1日に、現在も日本のスケート界を牽引され、多くの子どもたちにとって憧れの存在である 高木美帆さんが本校に来られました。本町の「アスリートと創るオリンピックの町創生事業」の一つである「学校訪問事業」の一貫です。

本校は、昨年度2月に開催された「全十勝新人スケート大会」において、女子が総合優勝を飾るなど、優秀なスケート選手も多く、全校生徒は喜びに包まれていました。そして、身近で様々なお話をお伺いし、多くの学びを得ていました。お忙しい中、貴重な時間を割いていただき、ご来校いただいた高木さんには心より感謝申し上げます。また、様々な準備をはじめ、素敵な時間を提供いただいた企画推進課並びに生涯学習課の皆様、有難うございました。



「幕別は食べ物美味しく、落ち着ける場所です。」
「世界の中で、イタリアは食事が美味しかったです…」



教頭先生の司会ぶりは、会全体を盛り上げてくれました。
「私の新婚旅行、実はイタリアでした。関係ないですね」



中学生へのメッセージとして、多くのご示唆をいただきました。

「勉強は自分の選択肢を広げることにつながる。そして、将来やりたいことを見つけることにつながる。」

「体を整えることは、集中力を高めることにつながる。」

「辛く・苦しいことは、自分の体の調整でやりたいトレーニング・努力が出来ない時間がある時や頑張れない状況の時。」

「緊張はほぐすものではなく、パフォーマンスを上げるもの。」

「不安は、目標やゴールに向かって、努力すること、やりきることによって消えていく」等…。

スケートという競技で世界の頂点に立たれた高木さんの言葉には、重みがあり、子どもたちの心に響くものでした。

高木美帆さん、本当に有難うございました。



中学時代にかかわった、堀井先生も笑顔



生徒から、高木さんへの質問コーナー



生徒を代表し、小原さんからお礼の言葉



【スケート部の交流】
激励の言葉をいただきました。